

## JR東労組ステーションサービス協議会

### 申 7 号

# 2018年度夏季手当に関する 団体交渉実施!

JR東労組は、6月6日「2018年度夏季手当」の団体交渉を行いました。会社からの2017年度期末決算の概要説明では、営業収益は新規の駅受託運営が進んだことで前年度を上回る増収増益でした。JR東労組は「3つの駅づくり」の実現や、技術継承、業務改善により「安全・働きがいのある」駅職場をめざし、日々奮闘する組合員の努力と頑張りによるものであることを強く訴えてきました。しかし会社は、4月1日に「新しい人事・賃金制度」を実施したことで、基本給の見直しを理由に難色を示しました。

今後もJR東労組は、満額回答を勝ち取るために引き続き粘り強く交渉していきます。

### 組 合

### 会 社

- 営業収益は114億2900万円、当期純利益は3億3700万円と2016年度決算と比較して1億5800万円増加している。
- 受託駅箇所の増加や遠隔操作システムの導入により業務量が著しく増加し、現場第一線で奮闘する組合員の努力に報いるべき。
- 経営状況は順調に推移していることから基本給月額3.0ヶ月を支払う能力は十分ある。

- 当期純利益が増加している理由は、若年出向者がJR東日本に復帰したことにより人件費の負担が縮小したからである。
- 施策および事故防止やサービス向上に対して、現場の組合員の理解と協力があったことに感謝している。
- 夏季手当について、期末決算の状況とこれから掛かる費用の要素を含め検討し回答したい。

JESS 損益計算書(抜粋)

【単位:百万円】

	2016年度 決算	2017年度 決算
営業収益	10,235	11,429
売上総利益	1,169	1,531
営業利益	285	544
経常利益	294	558
当期純利益	178	337

**2017年度期末決算の増収増益は、現場第一線で働く組合員の努力で生み出したものであり、正しく評価して応えるべきだ!**

# 全組合員の団結で、要求満額獲得を勝ち取るう!